

## トピック 2

### 平成 21 年第 3 四半期(7~9 月)国内概況

- ◆実質国内総生産(季節調整済み、2000 年基準)は前期比 1.2%増加となり、2 期連続の増加となった。アジア向けを中心に輸出が回復基調となり、外需が大きく寄与した。また、エコポイント制や、環境に配慮した自動車への重量税等の減免などで内需も刺激され、民間最終消費支出は 0.7%増となった。公的固定資本形成は、5 期ぶりにマイナスに転じ、1.2%の減少となり、政府が行う経済政策が一段落した格好となった。一方、民間企業設備は同 1.6%増となり、企業の設備投資が回復の兆しを見せている。鉱工業生産指数（季節調整済み、2005 年基準）は、前期比 7.4%上昇と 2 期連続の上昇となった。輸送機械工業、電子部品・デバイス工業などが大きく寄与したが、素材生産では、粗鋼生産が前年同期比で 20.4%減、セメント生産量が 15.8%減、紙・板紙生産が同 14.6%減となった。また、自動車の生産台数は同 26.4%減となった。一方エチレンは、4.7%増とアジア向けの輸出が伸びて増加に転じた。中国政府の政策主導で、家電製品の需要が大きく拡大したことが影響した。貿易は、輸出が前期比 12.9%増となった。地域別に見ると、アジア向け、北米、EU 向けがすべて増加した。輸入は同 12.0%増となった。建設着工件数は同 4.5%減、新設住宅着工戸数は同 7.2%減となったが、大きく減少した前期よりも緩やかな減少率となった。国内企業物価指数は前期比で横ばいとなった。消費者物価指数は同 0.3%低下となった。昨年の原油価格の高騰の反動減に加え、景気悪化に伴う内需の低迷が、販売価格を押し下げる要因となった。為替相場は、前期よりも円高で推移した。中国向けを中心に、外需が回復しているものの、経済政策による内需喚起が一巡し、政権が交代した今後の動向は不透明である。企業の設備投資が回復しつつあるものの、雇用情勢の回復は見られない。外需主導で緩やかに回復傾向にあるものの、今後の世界経済の動向如何で左右される可能性が高い状況が続くとみられる。
- ◆一次エネルギー総供給は対前年同期比で 11.2%減の  $126,271 \times 10^{10}$ kcal であった。石炭は、発電用需要の減少、及び鉄鋼業をはじめとする産業用需要の減少により同 5.4%減となった。石油は、原油輸入量の大幅な減少（同比 16.8%減）と製品輸入の減少により同比 15.2%減の  $56,358 \times 10^{10}$ kcal と 4 期連続の減少となった。また、LNG は都市ガス用、発電用の需要減を背景に同 6.9%減となった。原子力は設備利用率の上昇等により昨年同期並みとなり、水力は出水率の増加により 5.4%の増加となった。なお、輸入合計は同 13.2%減の  $105,571 \times 10^{10}$ kcal となった。
- ◆電灯電力需要は 10 電力会社の販売電力量合計で 2,239 億 kWh と前年同期比 8.1%減少した。電力需要（特定規模需要を含む）は、業務用の減少、産業用需要の大幅な減少から、前年同期 9.8%減となった。大口電力の業種別需要実績を見ても、鉄鋼をはじめ、全業種について前年同期の実績を下回った。電灯需要については、7 月から 9 月の気温が前年に比べて概ね低めに推移したため、冷房需要が減少

したことなどから3.9%減となった。10電力会社の発受電電力量では2,443億kWhと前年同期比で8.9%減少、発電電力量は2,045億kWhで前年同期比8.4%の減少となった。電源別では、水力は8月の出水率が前年同期を上回ったことなどから、9.5%増の172億kWhとなった。原子力は8月に発生した駿河湾沖地震の影響により8月の設備利用率が前年を下回ったものの、2007年7月の中越沖地震により停止していた柏崎刈羽発電所で試運転が始まること等から設備利用率が前年を上回ったことにより0.6%増の674億kWh、火力は発受電電力量全体が減少したこと等から14.8%減少し1,192億kWhとなった。燃料消費は、それぞれ石炭が6.9%、原油65.4%、重油52.0%、LNG6.2%の減少となった。

◆燃料油販売は4,520万kl、前年同期比3.6%減となった。油種別に見ると、ガソリンは前年の低水準の反動などから5.2%増、軽油は不景気による貨物輸送量の減少などの影響で需要が落ち込み3.9%減となった。ナフサは前年のエチレンプラント定修による低水準の反動増や、国内外の石化製品需要回復傾向を受けて2.6%増となった。灯油は前年の記録的な低水準の反動などから12.8%増となった。A重油は燃料転換の進展などから14.2%減となり引き続き減少となった。B・C重油は火力発電量の落ち込みから電力用が大幅に減少し、さらに産業界の減産体勢による自家発自家消費の稼働減などを受けて大きく落ち込み34.0%減となった。

原油処理量は5,230万klと、8.4%減となった。稼働率は73.6%となり、前年同期を6.0ポイント下回った。原油輸入量は5,065万klとなり16.7%減となった。地域別に見ると、中東は、アラブ首長国連邦、イラン、クウェート、カタール等の減少により15.6%減、中東以外からの輸入量は、インドネシア、スー丹、オーストラリア等の減少により25.4%減となった。この結果、中東依存度は89.5%となり、前年同期を1.2ポイント上回った。燃料油輸入は、軽油、B・C重油で前年同期を下回り、2.5%減の813万klとなった。また、燃料油輸出は、ジェット燃料油、B・C重油が前年同期を下回り、7.5%減の881万klとなった。

◆都市ガス販売量は、76億4,168万m<sup>3</sup>(41.8605MJ/m<sup>3</sup>換算)で、前年同期比7.0%減となった。平成20年第4四半期以降、4期連続して前年同期を下回った。用途別にみると、家庭用は気温が低めに推移し、給湯需要が増加したことなどにより1.6%増、商業用は低気温による冷房需要の落ち込みなどが影響し、6.7%減となった。工業用は景気悪化による既存需要の稼働減が続き、減少幅は小さくなっているものの前期に引き続き2桁減の10.3%減となった。用途別のシェアを見ると、家庭用が17.2%（前年同期は15.7%、前年同期比1.5ポイント増）、商業用が17.4%（0.1ポイント増）、工業用が54.7%（2.0ポイント減）、その他用が10.7%（0.5ポイント増）となった。

経済動向、エネルギー需給の推移（四半期ベース）

		2008Q3	2008Q4	2009Q1	2009Q2	2009Q3	伸び率				
		2008Q3	2008Q4	2009Q1	2009Q2	2009Q3	2008Q3	2008Q4	2009Q1	2009Q2	2009Q3
主要経済指標等	実質GDP(季調済、2000年基準10億円)	555,495	538,814	521,560	525,067	531,248	(-1.7)	(-3.0)	(-3.2)	(0.7)	(1.2)
	名目GDP(10億円)	499,246	495,179	482,142	480,190	479,871	(-3.0)	(-0.8)	(-2.6)	(-0.4)	(-0.1)
	鉱工業生産指数(2005年=100)	104.6	92.8	72.3	78.3	84.1	(-3.2)	(-11.3)	(-22.1)	(8.3)	(7.4)
	素材系生産量(千t)										
	粗鋼	30,448	26,397	17,596	19,093	24,236	1.8	-14.5	-42.9	-38.5	-20.4
	エチレン	1,735	1,577	1,471	1,699	1,816	-7.2	-20.4	-19.8	-2.2	4.7
	セメント	15,480	16,614	14,323	13,000	13,041	-6.6	-5.6	-9.6	-12.6	-15.8
	紙・板紙	7,806	7,209	6,028	6,661	6,669	0.6	-10.9	-22.8	-14.7	-14.6
	国内企業物価指数(2005年=100)	112.2	107.8	104.3	102.9	102.9	(3.1)	(-4.0)	(-3.2)	(-1.3)	(0.0)
	消費者物価指数(2005年=100)	102.6	101.9	100.6	100.6	100.3	(1.0)	(-0.7)	(-1.2)	(0.0)	(-0.3)
一次エネルギー	為替相場(日銀)(¥/\$)	107.6	96.1	93.6	97.3	93.6	(3.0)	(-10.7)	(-2.6)	(3.9)	(-3.8)
	暖房度日(度日)	0	253	611	35	0	-	0.2	-11.2	-1.7	-
	冷房度日(度日)	389	0	0	34	295	-2.5	-	-	274.4	-24.4
	総供給(ktoe)	142,166	132,330	128,565	113,079	126,271	2.1	-5.7	-9.8	-16.8	-11.2
	石炭	29,566	29,826	26,729	21,908	27,977	-6.9	-4.8	-13.0	-31.2	-5.4
電力需給	石油	66,437	62,963	60,681	53,440	56,358	3.7	-8.7	-14.4	-17.2	-15.2
	原油	55,275	52,548	51,783	44,487	45,990	3.1	-8.8	-13.4	-16.9	-16.8
	製品輸入	10,953	10,189	8,651	8,769	10,176	6.6	-8.3	-20.3	-19.1	-7.1
	天然ガス	890	993	1,078	816	825	-0.1	0.8	9.5	-8.3	-7.2
	LNG	23,004	22,108	22,089	19,125	21,428	5.2	-2.5	-6.2	-11.7	-6.9
	水力	4,381	2,743	3,626	4,327	4,616	-17.5	-11.0	11.5	-17.3	5.4
	原子力	14,914	13,559	14,218	13,322	14,915	-1.6	3.0	10.4	14.4	0.0
	地熱	129	138	144	140	152	-11.3	-7.7	-9.2	9.3	18.1
	CO <sub>2</sub> 排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	299,528	272,701	282,948	245,941	268,030	0.0	-13.3	-15.2	-11.9	-10.5
	発受電力量(百万kWh)	268,092	237,615	236,862	212,121	244,265	-0.1	-2.6	-9.7	-7.5	-8.9
一般電気事業者	発電力量(百万kWh)	223,174	196,883	196,841	179,708	204,493	-1.1	-4.0	-11.0	-8.0	-8.4
	水力	15,727	9,707	12,683	16,149	17,219	-16.4	-10.9	11.4	-11.9	9.5
	火力	139,892	124,927	119,665	104,702	119,216	0.6	-7.4	-21.0	-13.9	-14.8
	原子力	66,954	61,623	63,835	58,211	67,360	-1.2	3.8	9.5	6.4	0.6
	燃料消費実績										
	石炭(千t)	14,420	12,553	12,469	10,325	13,421	2.5	-4.3	-13.9	-9.4	-6.9
	原油(千kl)	2,797	1,733	1,150	688	969	23.2	-40.5	-71.7	-70.7	-65.4
	重油(千kl)	2,924	2,424	1,975	1,693	1,403	-6.3	-21.1	-47.9	-41.9	-52.0
	LNG(千t)	10,922	10,155	9,996	9,390	10,242	-2.4	-1.4	-8.0	-2.9	-6.2
	販売電力量(百万kWh)	243,577	213,148	219,663	197,289	223,856	0.3	-3.4	-9.9	-7.2	-8.1
大口電力(百万kWh)	電灯	71,312	66,173	84,713	64,043	68,553	-0.4	-1.1	-3.3	1.5	-3.9
	電力(特定規模需要を含む)	172,265	146,975	134,951	133,246	155,303	0.6	-4.4	-13.6	-10.8	-9.8
	特定規模需要 業務用	59,110	48,513	50,074	47,111	57,113	0.2	-0.8	-1.5	0.5	-3.4
	特定規模需要 産業用他	99,111	88,196	72,481	76,216	85,241	1.5	-6.0	-21.2	-17.7	-14.0
	食品	4,988	4,255	3,781	4,303	4,868	1.3	-0.3	-0.9	0.7	-2.4
都市ガス	紙・パルプ	2,858	2,759	2,029	2,404	2,337	5.5	-1.6	-25.9	-18.4	-18.2
	化学	8,188	7,557	5,650	6,088	6,549	5.2	-6.0	-28.0	-23.5	-20.0
	窯業・土石	2,995	3,041	2,370	2,361	2,475	1.6	-1.4	-22.0	-21.8	-17.4
	鉄鋼	9,943	8,951	5,781	6,437	7,220	4.5	-11.1	-42.0	-39.8	-27.4
	非鉄金属	4,437	3,995	3,022	3,464	3,629	6.6	-7.0	-30.8	-19.3	-18.2
	機械	22,291	18,630	14,515	15,561	18,303	1.4	-9.7	-28.6	-23.2	-17.9
	都市ガス販売量(万m <sup>3</sup> )	821,941	818,768	960,478	765,258	764,168	0.6	-4.2	-11.3	-9.9	-7.0
石油製品販売	家庭用	129,367	217,589	372,188	238,040	131,397	-2.3	-0.7	-4.0	-3.0	1.6
	商業用	142,131	105,864	123,120	103,529	132,611	-2.1	-4.3	-5.2	-1.3	-6.7
	工業用	465,935	435,736	376,643	368,487	418,040	2.3	-5.8	-20.5	-17.4	-10.3
	その他用	84,509	59,579	88,527	55,202	82,120	0.1	-3.9	-3.2	5.0	-2.8
	燃料油販売	46,867	52,235	51,973	44,624	45,203	-9.1	-9.9	-11.4	-10.7	-3.6
	ガソリン(千kl)	14,320	14,646	13,723	14,028	15,072	-10.0	-2.0	1.2	-5.1	5.2
	ナフサ(千kl)	11,210	10,786	9,838	10,763	11,496	-6.6	-15.2	-20.0	-2.5	2.6
原油需給	灯油(千kl)	1,759	6,435	8,683	2,985	1,985	-29.2	-10.2	-7.7	-11.5	12.8
	軽油(千kl)	8,245	8,672	8,050	7,804	7,921	-7.1	-6.8	-6.1	-10.9	-3.9
	A重油(千kl)	3,776	4,598	5,018	3,708	3,240	-18.3	-18.1	-19.3	-17.6	-14.2
	B/C重油(千kl)	6,082	5,661	5,264	4,224	4,015	-2.9	-14.8	-26.1	-31.3	-34.0
	うち電力向け(千kl)	3,683	3,059	2,594	2,036	1,923	1.4	-19.5	-41.2	-41.6	-47.8
エネルギー価格	LPG(千t)	3,613	4,201	3,990	3,550	3,636	-2.7	0.4	-9.5	-11.7	0.6
	輸入量(千kl)	60,820	57,797	56,952	48,997	50,647	3.2	-8.8	-13.4	-16.7	-16.7
	中東依存度(%)	88.3	87.8	89.4	89.6	89.5	[1.5]	[2.9]	[3.5]	[3.8]	[1.2]
	原油処理量(千kl)	57,090	55,818	56,724	48,682	52,301	-2.8	-7.8	-9.1	-10.9	-8.4
エネルギー価格	通関レート(セキツウ)(¥/\$)	107.85	98.59	92.33	97.60	94.37	(4.5)	(-8.6)	(-6.4)	(5.7)	(-3.3)
	原油価格(輸入CIF、\$/bbl)	129.57	77.14	44.25	52.60	70.30	(17.7)	(-40.5)	(-42.6)	(18.9)	(33.7)
	LNG価格(輸入CIF、\$/t)	692.62	741.53	573.95	395.56	407.84	(13.8)	(7.1)	(-22.6)	(-31.1)	(3.1)
	一般炭価格(輸入CIF、\$/t)	143.87	143.93	136.75	109.47	99.55	(17.6)	(0.0)	(-5.0)	(-20.0)	(-9.1)

※伸び率は前年同期比。但し()内は前期比、[]内は前年同期差。